

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
Q302	ホテル会計論	3年	講義	2	飯島二郎
授業概要 ホテル経営に不可欠である正確な会計情報を提供するための会計処理の知識とその技術を理解します。 先進の米国ホテル会計基準と国際ホテル会計基準を学習し、国際化に対応できるホテル経営のための会計知識を理解します。					
到達目標(学習の成果) 米国ホテル会計基準の基本的な内容を理解し、日本のホテル経営に活用できる会計処理の知識と技術を身につけます。(DP2)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	ホテル企業会計目的	ホテル企業会計の目的とその構造			
2	ホテルの収益と費用	客室部門の収益と費用の記録			
3		料飲食部門の収益と費用の記録			
4		付帯営業部門の収益と費用の記録(1)通信部門			
5		付帯営業部門の収益と費用の記録(2)ゴルフコースおよびプロショップ部門			
6		付帯営業部門の収益と費用の記録(3)駐車場部門			
7	ホテル財務会計	貸借対照表の作成			
8		損益計算書の作成			
9		株主資本等変動計算書の作成			
10		キャッシュ・フロー計算書の作成			
11	ホテルの管理会計	業務的意思決定			
12		戦略的意思決定			
13		業務評価のための管理会計			
14	ホテル会計基準	米国ホテル会計基準と国際ホテル会計基準について			
15	レベニュー・マネジメント	ホテルのレベニュー・マネジメントの原理			

準備学修(授業外の自己学修)

授業に出席する前に、必ず自ら問題を解き、理解できた内容と不理解の分野を明らかにしてから受講してください。学習内容を理解できても誤りなく正確に迅速に会計処理ができなければ本講義の目標を達成することはできません。繰り返し問題を解いて実力を向上させてください。

成績評価の方法・基準(%表記)

観点	S	A	B	C
ホテル会計の特徴と基本的な内容を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
ホテル会計の会計処理の技術を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。
ホテル会計の財務諸表作成の知識と技術を理解している	完全に理解できている。	ほぼ完全に理解できている。	十分に理解できている。	一定程度理解できている。

教科書
特になし

参考書等

「米国ホテル会計基準Ⅱ」ニューヨークホテル協会編著 大塚宗春監修・税務経理協会出版

履修上の注意・学修支援

本講義を履修する場合は、『簿記論Ⅰ・Ⅱ』を履修しておく必要があります。

この授業は自主的な学習を基本にします。授業で配布される資料を何度も読み込んで問題を解くなど、必ず予習をしてください。もし自主学習を進められない分野・内容がある場合は、事前に必ず相談してください。